

地域及び国内の馬産業に従事する人材を育成することを目的に馬に関する専門的な知識及び実践的な技術習得を目指します。

履修証明プログラム

馬産業 人材育成 プログラム



基礎コース

これから馬産業への就職、転職を検討している方や、馬に関する基礎的な知識を身につけたい方を対象に、馬の生態及び飼養や取扱い等について学び、馬産業における基礎的な知識を習得するためのプログラムを実施します。

2026年

4月

2027年

3月

対象

- ・馬産業に就職して間もない若手職員、これから馬産業への就職、転職を検討している方
- ・馬に関する興味・関心があり、馬に関する基礎的な知識を身につけたい方

会場

帯広畜産大学

定員

20名

形式

対面、オンライン、オンデマンド

※実習科目は対面のみとします。

※オンデマンドは講義ごとにレポート提出が必須です。

受講料

10万円（税込）

※遠隔受講時のデータ通信料は各自ご負担ください。

修了要件

必修科目 **2** 科目及び選択科目 **1** 科目以上 かつ合計 **60** 時間以上の修了

本プログラムを修了した方には
修了証書及び履修証明書を交付します。
さらに希望者には修了科目の単位を認定します。

詳細はこちら

募集の詳細は二次元コードまたは URL から
ご確認ください。

<https://www.obihiro.ac.jp/facility/ccae/uma-program>



申込期間

2026年1月19日（月）～2月20日（金）必着

応募資格

大学入学試験条件を満たす者。詳細は募集要項をご確認ください。

応募書類

①様式1「志願書」 ②様式2「履歴書」 ③様式3「LAN 端末申請書」（大学で自身の PC 利用を希望される方のみ）

④承諾書（所属先より派遣される方のみ・自由様式）

提出先：「帯広畜産大学教務課社会人教育係」までメール送付 Mail : rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

※提出された応募書類は、返還しませんのでご了承下さい。

※応募書類は、受講者選考の資料とするほか、本事業の方針・内容等の検討を行うための資料として参考にさせていただきます。

馬学総論Ⅰ（全15回）



民俗学、歴史、国内外や地域の馬産業など人と馬のかかわりを理解するとともに、馬の行動学、飼養栄養学、馬学、獣医学、生産育成との関連を理解し、馬を総合的に理解する入門知識を学びます。

講師：南保 泰雄 教授、田上 正明 特任教授
とかち馬文化を支える会 旋丸 巴 氏ほか

馬学総論Ⅱ（全15回）



日本の馬産業をより深く理解するとともに発展応用的な総合馬学を学びます。特に競馬産業や乗馬産業さらに馬の多様な利活用を推進する地域貢献や馬事文化普及等の具体的な産業や文化に焦点を当て、より発展した知識や対処方法を学びます。

講師：南保 泰雄 教授、佐々木 基樹 教授、柏村 文郎 氏
株式会社ネットドリーマーズ 鬼窪 峻太 氏ほか

丈夫な馬づくり学（全15回）



主として競走馬を対象として、実践的な生産育成技術と生産管理についての情報と技術を学び、講義内での討議を通じて馬の生産管理についてのより発展した知識や対処方法を身につけます。

講師：南保 泰雄 教授、田上 正明 特任教授
イノウエホースクリニック 井上 裕士 氏
ほか 競走馬生産育成専門家、牧場管理者

実践競走馬学（全15回）



競走馬のオーナー、調教師、厩舎関係者、生産育成関係者等の育成を念頭に、即戦力となる競走馬管理の情報や技術について学び、討議することにより、競走馬の管理についての高度な知識と対処方法を身につけます。

講師：田上 正明 特任教授、馬栄養管理アドバイザー 朝井 洋 氏
ほか 競馬業務・競走馬スポーツサイエンス専門家、調教師

乗馬・飼養管理実習（2日間）



人と馬との信頼関係やコミュニケーションを築くために必須となる、馬の手入れ方法や給餌について、実馬を用いて実習します。また、馬具の付け方や馬の騎乗方法について学びます。

講師：南保 泰雄 教授
帯広畜産大学 馬介在活動室 職員

※講義の内容等は予定であり変更になる場合がございます。
※1回の講義時間は90分です（実習を除く）。

科目名	開講形式	時間数（時間）	単位数
馬学総論Ⅰ	座学	22.5	2
馬学総論Ⅱ	座学	22.5	2
丈夫な馬づくり学	座学	22.5	2
実践競走馬学	座学	22.5	2
乗馬・飼養管理実習	実習	6.5	—

プログラムの様子

座学



帯広畜産大学所属学生と一緒に受講します

実習



社会人受講生のみ受講します